

平成28年4月14日

筑波大学  
学長 永田 恭介 様

茨城県筑西市一本松1755番地2

一般財団法人 関 彰 育 英 会  
代表理事 関 實 枝 子



拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご芳情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当法人は、昭和59年(1984年)設立以来32期にわたりまして、茨城県立高校出身者の大学就学支援ならびに平成17年より奨学の目的を従来の「就学支援」から「研究支援」に替えて行っております。

つきましては、下記要項にて、貴大学院博士課程在籍者3名を当法人の奨学生として採用したく存じます。

ご多用中お手数に存じますが、該当者をご推薦いただきたく、必要書類を同封させていただきました。

何卒宜しくご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

#### 申請の資格

- 1) 平成28年4月、貴大学院一貫制博士課程3年次生に進級した方(今年度3年次編入学者も含む)および博士後期課程1年次生に入学した方。
- 2) 人物、学力ともに優れ、経済的に当法人の奨学金を必要と認められる方。
- 3) 低所得者を優先するが、特に上限は設けない。

#### 提出書類

- ・当法人所定の書類
- ・所得に関する証明書

#### 提出期限

平成28年5月16日(月)



#### 支給の額・方法等

- 1) 月額3万円を標準修業年限の期間中にわたり支給します。
- 2) 毎年6月、9月、12月に年支給額の3分の1ずつを銀行振込にて支給します。
- 3) 返還の必要はありません。

#### 奨学生の義務

- 1) 当法人が実施する年1回の交流会に参加し、奨学生相互の啓発向上、社会貢献への志を高めること。
- 2) 毎年度末に「学業成績証明書」、「生活状況報告書」、「研究進捗報告書」を提出すること。
- 3) 給与期間終了時に「学業成績証明書」、「進路報告書」、「研究結果報告書」を提出すること。

#### 通知

奨学生採用決定後、本人および学長宛て文書にて通知します。

#### その他選考に関して

- 1) 研究分野毎の採用人員

①教育に関する研究分野	1名
②芸術に関する研究分野	1名
③体育(スポーツ医学含む)に関する研究分野	1名

※本年度より、採用する研究分野を変更いたしました。  
※応募者は上記研究分野から応募する研究分野を選択し、その旨を別添の(様式1)奨学生願書の「応募する研究分野」欄に記入してください。
- 2) 貴大学で候補者を選定いただき、当法人において選考いたします。

#### 書類ご提出先・お問合せ先

一般財団法人関彰育英会 事務局 栗原 明子  
〒305-0051 茨城県つくば市二の宮一丁目23番地6 (関彰商事株式会社 総務部内)  
TEL 029-860-5151 FAX 029-855-5671

以上

# 奨 学 生 願 書

(様式1)

# 応 募 課 題

一般財団法人関影育英会

(平成 年 月 日現在)

ふりがな		性別	写真貼付 横4cm×縦5cm			
氏名		男・女				
生年月日	昭・平 年 月 日生 (満 歳)					
本籍地	都道府県 筆頭者との続柄					
大学名						
研究科		専 攻				
ふりがな						
現住所						
郵便番号	〒	電話番号				
E-Mail						
ふりがな						
帰省先						
郵便番号	〒	電話番号				
年号(和暦)	年	月	学 歴			
			高等学校 卒業			
			大 学 学部 卒業			
			大学院 研究科 修了			
年号(和暦)	年	月	職 歴			
家 族 状 況	本人との続柄	氏名	年齢	本人との続柄	氏名	年齢
*結婚して独立の生計を営む兄弟姉妹の記入は不要です						
*結婚している方の父母の記入は不要です						

博士課程に進学した目的と具体的な研究計画	
奨学金を必要とする理由 (現在の収入状況等について詳細に記入すること。)	
応募する研究分野 (該当する研究分野の左側空欄に○印を記入すること。)	
	①教育に関する研究分野
	②芸術に関する研究分野
	③体育に関する研究分野

一般財団法人関彰育英会 奨学生推薦調書

氏名	フリガナ (男・女)
生年月日	年 月 日 ( 歳)
大学名・研究科等	筑波大学大学院 ・博士課程 3年次 ・博士後期課程 1年次 研究科 専攻 年 月 入学
推薦理由	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

推薦者 筑波大学  
学長 永田 恭介 印

記載者 所属・職名  
氏名 印

# 一般財団法人 関彰育英会 奨学生募集



奨学生全体交流会の様子

## ◆応募資格

平成28年4月に大学院一貫制博士課程3年次生に進級した方(今年度3年次編入学者も含む)および博士後期過程1年次生に入学した方で、経済的に当法人の奨学金を必要と認められる方。

## ◆採用人員3名 各1①教育 ②芸術 ③体育(スポーツ医学含む)

## ◆支給額(給与) 月額3万円

3年間にわたり支給します。奨学金の返還の必要はありません。

### 【奨学生OBのコメント】

博士課程では、自ら積極的に研究を行い、研究成果を出すことが求められます。しかし、研究に関わる書籍の購入や学会参加費、調査費等は必ずしも充分でなく、関彰育英会から金銭的な支援を受けたことは研究に専念する環境を整え、維持する上で非常に重要なことでした。

それだけではなく、関彰育英会の奨学生として3年間過ごせたことは、新たな人とのつながりを持ってたという点で自分にとって大変意義深いことでした。年に数回の交流会では、奨学生が集まり、研究紹介を行います。そこで他の奨学生の方の研究に刺激を受け、関彰商事の皆様の熱意を感じ、それが自分の研究の新たなモチベーションにもなりました。振り返ると、交流会に代表される関彰育英会との関わりは今の自分には無くてはならないものだったと感じます。

詳しいお問合せ先は、筑波大学 学生部 学生生活課まで

# 家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL ( _____ )			
	フリガナ	_____									
	氏 名	_____					家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )			
家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額			
	就 学 者 を 除 く 家 族	父			年		万円	万円			
	母				年		万円	万円			
	父または母 死亡・離別の場合		時期 ( 年 月 )		理由 ( _____ )						
	主たる家計支持者無職等の場合		時期 ( 年 月 )		理由 ( _____ )						
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
	別 居 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額		
就 学 者		本人		筑波大学	国立		※自 宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目	控除有無									
	母子・父子世帯	※有・無									
	障害者がいる世帯	※有・無	続柄 ( )	氏名 ( )	手帳番号 ( )						
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 ( 千円 )					認 定				
	アルバイト	月額 ( 千円 )	内容 ( _____ )				総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 ( 千円 )	団体名 ( _____ )				必要経費	② 万円		
		申請中	月額 ( 千円 )	団体名 ( _____ )				特別控除額	③ 万円		
	その他の収入	月額 ( 千円 )	内容 ( _____ )				総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入し、成績証明書を添付すること。  
2年次以上の者にあっては、前年度までの成績を記入すること。